

令和6(2024)年度 競技計画(案)作成に当たって

◆令和5年度との相違点◆

1. 大会名称の変更

- (1) 県NO5 日本スポーツマスターズ兼関東エルダー大会 → 全日本エルダー兼関東エルダー大会に名称変更
- (2) 県NO17 国体選考会 → 国民スポーツ大会選考会に名称変更

◆よって関係資料(要項・プログラム・表彰状・認定証等)の確認、訂正、差し替えをお願いいたします

2. 埼玉県予選会の順位決定戦 → 代表決定戦に表現を改めたい(7/22の競技企画委員会での確認事項)

理由:順位決定戦だと3位、4位の表現が出てくるので、代表決定戦の勝者、敗者の表現に改めたい(案)

3. 外野フェンスまでの距離検討(案)

県NO2のクラブ男子、6の総合男子の外野フェンスまでの距離 : 現行69m → 69m~修正

理由:令和5年度県予選会での本塁打数(NO2/クラブ男子22本=10チーム参加の9試合、NO6/総合男子21本=9チーム参加の8試合)が多く、可能な限り距離を69m~76mに設定をお願いしたい。その場合、複数面を同一距離で統一する

4. ジョイフルスローピッチ埼玉県予選会を当面行わない … 7月8日の理事会で決定

理由:県予選会の上位2チーム(男女とも)が関東大会に出場する予定にはなっているが、関東1都7県からの参加チームが少なく、実質フリー大会と変わらないと判断し、県予選会を行わず、希望するチームに参加していただく方針とする。

5. 支部推薦チームの記載 … 生涯種別の一般男子・壮年・実年・シニア・ハイシニア・スーパーシニアの

6種別が対象(令和5年9月10日終了時)

※NO30 関東スーパーシニアのみ令和6年度は2チームの支部推薦とする(特例)

※令和6年度以降の組み合わせでは、支部推薦チームを抽選番号1に入る…抽選番号2には 他支部のチームが入るよう考慮する。

(注意)関東スーパーシニアは1と16に推薦チームが入る(1と16は申し込み順または受付の早い順に抽選で決める)

6. 日程の変更(案)

令和6年度の競技計画(素案)を7/26(水)に5支部の事務局長様に発信しましたが、その後、全国大会(案)の情報と照合した結果、一部の大会(予選会)が上位大会と重複しているため日程を太字で修正させていただきましたので、それらの大会を受け持つ支部については日程を変更しないでいただきたい。

該当する大会(予選会)名 … ①NO6:全日本総合男子 ②NO36:県民総合スポーツ(シニア) ③NO37.38:県民総合小学(男女)④NO41.土屋旗(女子)A ⑤NO43:土屋旗(シニア) ⑥NO44:埼玉県総合選手権(男子)

7. 県NO60に第47回埼玉県スポーツ少年団中央大会を埼玉県競技計画に加える(案)…令和5年度までは参考として記載していた

背景:スポーツ少年団中央大会として昭和53年の第1回大会(岩槻市=現在のさいたま市)以来、県内の各地で開催されてきましたが、ここ数年は北本市とさいたま市で開催されることが多くなり参加チームも県協会主催同様に減少傾向にあります。県協会としてもスポーツ少年団と連携し、小学生大会の活性化、発展に努力すべきと考えます。

しかし、県ソフトボール協会とスポーツ少年団との歴史的背景、各市町村協会(連盟)の方針等、お互いに理解し、超えなければならない課題があり、少々時間がかかりますが、年度内には県競技計画に加えさせていただきたく提案いたします。

[参考1] 中央大会における参加チーム数推移

回数	第41回	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回
年	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
男子	10	12	11	9	9	7
女子	16	15	15	16	12	11

[参考2] (A) 県ソフトボール協会と(B) スポーツ少年団との比較

単位:円

区分	大会名	登録料(年)		大会参加費	補助金(R5年度)	ユニホーム	男女比率	指導者資格有無
		チーム	個人					
(A)	全日本・関東・春期(日ソ協)	3,000 (日ソ協分)	200/名 (日ソ協分)	8,000	各大会とも男女合わせて 250,000	統一	男子に女子3 名の常時出場 可	有
	県民総合	2,000(未登録 チーム)	-	8,000		背番号は統一 する		無
(B)	中央大会(スポーツ協会)	-	700/名	5,000	試合数、動員数により補助金 に変動あり	統一	男子に女子4 名の常時出場 可	無

※県協会からの補助金無しでも県協会主催と同レベルの大会開催可能